

6 . 棘皮動物^{きよくひ}

棘皮動物の代表的なものは、ヒトデ、ウニ、ナマコの仲間です。泡瀬地区では、これまでに **21 種**が確認されています。

ヒトデ類では、**マンジュウヒトデ**、**コブヒトデ**の 2 種が確認されています。**コブヒトデ**は、海草藻場内に多くみられ、小さな生物を食べて生活しています。

ウニ類では、**ガンガゼ**、**クロウニ**、**ラッパウニ**、**シラヒゲウニ**等の 7 種が確認されています。**ガンガゼ**は、海草藻場内や沖合の砂地で集団を形成し、毒のある長いトゲをもっています。刺されると激しい痛みが続きます。**シラヒゲウニ**は食用で、沖縄ではお寿司のネタとしてもよく知られています。

ナマコ類では、**トゲクリイロナマコ**、**フタスジナマコ**、**クロナマコ**、**アカミシキリ**、**リュウキュウフジナマコ**等の 15 種が確認されています。ナマコ類は、触ると種類により肛門から白い糸（キュービエ器官）を出すものもありますが、これは自己防衛のためだと言われています。

6.棘皮動物



マンジュウヒトデ

アカヒトデ目 コブヒトデ科

Culcita novaeguineae

大きさ: 輻長15cm,

特徴: 体は丸みのある五角形で、体色はさまざま。幼体は平らで、岩場や砂地に生息する。

分布: 屋久島以南:インド洋、西太平洋。

サンゴ
礁

藻場



コブヒトデ

アカヒトデ目 コブヒトデ科

Protoreaster nodosus

大きさ: 輻長20cm,

特徴: 体は硬く、腕は5本。体の表面に角状のコブがある。体色はさまざま。砂地に生息する。

分布: 奄美・沖縄・小笠原諸島以南:インド洋・西太平洋。

藻場



ガンガゼ

ガンガゼ目 ガンガゼ科

Diadema setosum

大きさ: 殻径6~7cm,

特徴: 体は濃い紫色で、殻表に青色や白色の点がある。長いトゲは鋭く、刺さると激痛が走るので触ると危険。トゲの間は小さな生き物の隠れ家になっている。

分布: 房総半島・相模湾以南:インド洋・西太平洋。

サンゴ
礁

藻場



トクリガンガゼモドキ

ガンガゼ目 ガンガゼ科

Echinothrix calamaris

大きさ: 殻径10cm,

特徴: ガンガゼに似るが、トゲは太く、それほど長くない。色は縞模様のものから黒、白とさまざま。岩場に生息する。

分布: 紀伊半島(稀)以南:インド洋・西太平洋。

サンゴ
礁

6.棘皮動物



クロウニ

アスナロウニ目 クロウニ科

Stomopneustes variolaris

大きさ: 殻径5~6cm。

特徴: 体は黒く、太いトゲの表面は滑らかではなく、触れるとひっかかるような感じがする。

分布: 紀伊半島(稀)以南・インド・西太平洋。

サンゴ
礁

藻場



ラッパウニ

ホンウニ目 ラッパウニ科

Toxopneustes pileolus

大きさ: 殻径10cm。

特徴: 体の表面に白いラッパ状の叉棘(さきよく;トゲの間の突起)をたくさんもつ。しばしば海藻やサンゴ片をつけている。叉棘は毒をもつので素手で触らない方がいい。

分布: 房総半島・相模湾以南・インド・西太平洋。

サンゴ
礁

藻場



シラヒゲウニ

ホンウニ目 ラッパウニ科

Tripneustes gratilla

大きさ: 殻径7~8cm。

特徴: トゲは短く、白色とオレンジ色のものが混在することが多い。沖縄では食用にされている。藻場内の砂地に生息する。

分布: 房総半島・相模湾(稀)以南・インド洋・西太平洋。

藻場



ツマジロナガウニ

ホンウニ目 ナガウニ科

Echinometra sp.

大きさ: 殻径6cm。

特徴: 殻は楕円形。トゲの色はさまざまであるが先端部は白い。岩礁域で干上がるような浅瀬にも生息する。

分布: 房総半島・相模湾以南・インド洋・西太平洋。

サンゴ
礁

藻場

6.棘皮動物



トゲクリイロナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Actinopyga echinites

大きさ: 体長15~30cm。

特徴: 体は茶色で、背中に黒色の斑点と小さなトゲがたくさんあり、砂を体表につけている事が多い。藻場内の砂地に生息する。

分布: 奄美・琉球諸島以南:インド洋・西太平洋。



ジャノメナマコ

サンゴ

楯手目 クロナマコ科

Bohadschia argus

大きさ: 体長30~40cm。

特徴: 大型で、細い突起がまばらにある。体表にオレンジ色の斑点が散らばる。沖合のサンゴ礁域の砂地に生息する。

分布: 奄美・琉球諸島・小笠原諸島以南:インド洋・太平洋。



フタスジナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Bohadschia bivittata

大きさ: 体長20~30cm。

特徴: 体に濃い褐色の帯模様がある。色彩変異はさまざま。体前部と体後部に褐色の模様。藻場内の砂地に生息する。

分布: 奄美・琉球諸島以南:インド洋・西大西洋。



クロナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Halodeima) atra

大きさ: 体長5~25cm。

特徴: 体は細長くてやや軟らかい。体の色は黒色。体の表面に砂を付けるので、黒と白とのまだら模様に見える。藻場内の砂地に生息する。

分布: 奄美・琉球諸島以南:インド洋・西太平洋。

6.棘皮動物



アカミシキリ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Halodeima) edulis

大きさ: 体長15~40cm,

特徴: 体は軟らかく、やや細長い。体の上の方はやや黒っぽく、下の方が赤っぽい。背中にはコブがある。藻場内の砂地に生息する。

分布: 奄美大島以南:インド・太平洋。



リュウキュウフジナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Thymiosycia) hilla

大きさ: 体長10~20cm,

特徴: 体は軟らかく、やや細長い。体の色は薄い茶色で、白いやや大きなイボがある。転石の下に生息する。

分布: 沖縄諸島:インド・太平洋。



ニセクロナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Mertensiothuria) leucospirota

大きさ: 体長20~30cm,

特徴: 体は非常に軟らかく、細長い円筒形。全体が黒い。クロナマコに似ているが、体に砂粒を付けることが少ない。藻場内の砂地に生息する。

分布: 紀伊半島(稀)以南:インド洋・西大西洋。



トラフナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Mertensiothuria) pervicax

大きさ: 体長20~30cm,

特徴: 体は軟らかく、色は茶色と白のまだら模様。先端が濃い茶色のイボが全身にある。砂地に生息する。

分布: 房総半島・相模湾以南:インド洋・西大西洋。

6.棘皮動物



モグラクロナマコ

サンゴ 藻場

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Mertensiothuria) sp.

大きさ: 体長20~30cm,

特徴: 体は軟らかく、やや細長で前後で少しとがる。体の色は濃い茶色で、やや大きなイボがまばらにみられる。砂地に生息する。

分布: 沖縄本島。



ハネジナマコ

サンゴ

楯手目 クロナマコ科

Holothuria (Metriatyla) scabra

大きさ: 体長30~40cm,

特徴: 体は堅く、やや平らな太いコップパン形。体の色は灰色地で黒い小さな点が散らばる。砂地に生息する。

分布: 奄美大島以南:インド・太平洋。



ヨコスジナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Stichopus variegatus

大きさ: 体長30cm,

特徴: 体は角の取れた四角柱で、色はさまざま。全身に小さなコブがある。藻場内の砂地に生息する。

分布: 奄美・琉球諸島以南:インド洋・西大西洋。



オニイボナマコ

藻場

楯手目 クロナマコ科

Stichopus horrens

大きさ: 体長20~30cm,

特徴: 体の色は白と灰色のまだら模様で、体の表面は黒いリングの付いた太いイボでおおわれている。昼間はサンゴの間に隠れていて、夜間外に出て活動する。

分布: 奄美・琉球諸島・小笠原諸島以南・インド洋・西大西洋。